

**実施要綱** (応募の手引き)

2015年4月発表  
全日本シール印刷協同組合連合会  
技術委員会

応募資格：連合会傘下各協組の組合員・会友に限る。

応募規定：巻取り原反で印刷又は加工し、通し回数3回以内で作製した作品（⑦部門は除く）大きさは原則としてA4版以内とする。

応募部門：自由課題(①～⑦)

- ①レタープレス印刷部門（平圧式凸版印刷機）
- ②レタープレス印刷部門（円圧式・輪転または間歇式凸版印刷）
- ③オフセット印刷部門
- ④複合印刷部門（2機種以上の印刷機または加工機を使用）箔押し・エンボス加工など。箔・エンボスの面積が全体の10%以下の場合には他の部門へのエントリーができます。コールド箔使用の場合はその旨、明記のこと。
- ⑤デジタル印刷部門（インクジェット・レーザープリンタ他）
- ⑥その他の部門（シルクスクリーン・フレキソ・グラビア等、①～⑤に該当しない場合）
- ⑦アイデア開発部門（機能性・新規性・創造性をアピールする作品）  
機種・版式・通し回数等は一切問いません。

応募部門：規定課題(⑧～⑨)

- ⑧レタープレス（平圧式凸版印刷）  
使用原紙 アート紙・青グラシンセパレータに限る(セパを剥がさずに刷り色を評価しますのでご注意ください) 糊の種類、原紙メーカーは問わず。  
刷り色 DIC156 DIC643 墨。別途特色の刷り色見本を応募要項のチラシと共に配布します。その色見本と比較して審査します。各社の色見本帳と若干異なる場合がありますが、配布された色見本を基準とします。  
通し回数 1回 だるまの内側の墨は乗せでも毛抜きでも各社の自由です。  
白抜きの細い線が極端に太く見える作品は減点の対象になります。
- ⑨レタープレス（輪転・または間歇輪転式凸版印刷）  
使用原紙 キャストコート紙・青グラシンセパレータに限る(セパを剥がさずに刷り色を評価しますのでご注意ください) 糊の種類、原紙メーカーは問わず。  
刷り色 DIC635 藍 黄色 墨。別途特色の刷り色見本を応募要項のチラシと共に配布します。その色見本と比較して審査します。各社の色見本帳と若干異なる場合がありますが、配布された色見本を基準とします。  
通し回数 1回 『一笑懸命笑売繁盛』『ナニワは天下の台所』『新しい時代に向かって』の墨文字はバックの柄に乗せることとします。秀吉の冠等、墨ベタ部分に他の色の網点を敷いて濃度を上げる手法は禁止とします。墨版の分版（ベタ版と網版を分ける）も禁止します。

⑧⑨部門とも製版時におけるデータの補正は可とする

応募点数：⑧⑨部門は1部門につき、1社1点に限る。①～⑦部門は点数制限なし。(ただし類似作品を2点以上出すと審査が不利になります)

応募規定：応募者は作品を下記により用意し、期限以内に連合会事務局に送付する。

- ①各所属協組に配布された、応募用紙に必要事項を記入し作品をセパレータごと貼り付けたもの3部。(審査会で主に使用する)セパの張り替えは失格とします。
- ②作品を1枚カットにしたもの100枚(作品アルバムに使用するため。及び、世界ラベルコンテストで他国の審査委員に渡すので美品が必要)
- ③連続印刷100枚のロール状の作品(印刷のバラつきを判定するため。及び、世界ラベルコンテストに連続印刷の証明として持参するために必要)  
連続作品の提出が出来ない場合はその理由を明記すれば協議の上、審査対象になります。

審査方法：審査は1次審査、2次審査を行い、各賞を決定します。

1次審査：各協組1名ずつの技術委員9名が委員会の審査基準によって採点します。採点方法は2点法(各項目ごとに0点1点2点を付ける)によって採点します。採点項目数×2点×9名が満点になります。

2次審査：経済産業省担当官・(一社)日本印刷産業連合会・全日本シール印刷協賛会各々数名を審査委員として招聘し自由課題の1次審査上位作品約30作品の1次審査得点に加点する方式で審査し各賞を決定します。  
規定課題の上位得点数点を二次審査に持参し、日本印刷産業連合会賞及び、協賛会長賞の1点ずつを選考致します。

審査項目(第1次審査)：

自由課題の審査項目

- ①印刷・抜きの見当精度
- ②画線のシャープさ(マージナルゾーンの有無)
- ③網点とグラデーション
- ④インキのノリとムラの具合
- ⑥用途の有無

規定課題の審査項目

- ①印刷・抜きの見当精度
- ②画線のシャープさ(マージナルゾーンの有無)
- ③網点とグラデーション
- ④インキのノリとムラの具合
- ⑤色の整合性(色見本との類似度)

アイデア開発部門の審査項目

- ①印刷の具合(上記①～④をまとめて審査)
- ②新規性
- ③独創性
- ④機能性
- ⑤用途及び実用性

なお、採点方法および基準の詳細については、本年度改定致しましたので、別途発表の2015採点基準を必ず参照ください。

授賞：(実績および申請中)

経済産業大臣 1点  
経済産業省商務情報政策局長賞 2点  
(社)日本印刷産業連合会会長賞 2点 (自由・規定 各1点)  
全日本シール印刷協賛会会長賞 2点 (自由・規定 各1点)  
全日本シール印刷連合会会長賞 (①～⑥部門賞) 6点  
技術委員会賞 (⑦部門賞) 1点  
優秀賞 若干数

日 程：

応募開始 平成 27 年 5 月 12 日(火)

規定課題をホームページで公開します。

各協組事務局に、コンテスト台紙、及び、規定課題カンパを送付します。

応募社は各協組事務局に必要な枚数を請求ください。

受付開始 平成 27 年 6 月 1 日(月)

応募〆切 平成 27 年 7 月 21 日(火)連合会に必着

上記応募規定に適合した作品を〆切り前に連合会事務局に到着させること。

〆切り日に遅れた場合いかなる理由があっても失格となりますのでご注意ください。 また、ロール紙で印刷してない・通し回数制限超え・枚数不足など作品に不備があった場合も審査対象外となります。

1次審査会 平成 27 年 7 月 31 日(金)

2次審査会 平成 27 年 8 月 6 日(木)

第 27 回世界ラベルコンテスト選考会 8 月下旬頃

発表及び表彰：平成 27 年 10 月 9 日(金) 第 57 回 年次大会にて発表する。

ただし、2次審査終了後、上位入賞各社に対して連合会事務局から表彰式出席要請を含め事前に通知いたします。(上位の賞に該当している旨の通知で、何賞かは当日までお知らせできません。)

⑦⑧部門賞については、最上位2賞に限り、オペレーター本人の表彰を要請します。この場合、本人の年次大会参加費は無料とします。

なお希望する応募者には審査項目ごとの得点内訳をお知らせします。応募用紙にチェックを入れ、連合会事務局へお問い合わせください。

注意事項：

- ①出品に際しては著作権、版權、特許等で後日各方面との間で(クライアント、ユーザー、同業者間など)法律上の問題が生じぬよう、各方面の了承を得るなど細心の注意をお願いします。万一、特許侵害、著作権侵害など、法律上のトラブルを生じた場合、その責任は出品社が負うものとします。
- ②応募作品は返却できません。応募作品を連合会および、関連団体主催の各種行事の際に展示または配布することがあります。

附記：世界ラベルコンテストについて

世界ラベルコンテストへのノミネート作品の選定は別途外部審査員を招き選考審査会が実施されます。世界ラベルコンテストと国内のコンテストではカテゴリーが違うため、国内コンテストの上位作品であってもノミネートされない場合もあります。

また、逆に国内コンテストで受賞がなかった作品でもノミネートされる場合もありますので

ご了承ください。世界ラベルコンテストへのノミネートが決定した場合個々の会社はその旨通知を致しノミネートの確認を致します。世界コンテストで入賞が決まった場合にはその入賞企業様よりトロフィー代、ノミネート料として計 40,000 円の協力費をご負担いただきます。

世界ラベルコンテストへのノミネートには出展作品の用途が明確であることが求められます。そのため、受賞作品については、実際に使用されている写真（もしくは貼り付けされた商品の写真）の提出が求められます。毎年「コマーシャルベースの作品を」と繰り返し申し上げているのもその為です。是非、商品に貼って違和感の無い作品を応募されます様、お願い致します。